

## 行政視察報告

視察日時	令和 2 年 1 1 月 1 0 日 (火) 1 3 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分
視察場所	栃木県足利市本城 3 丁目 2 1 4 5 番地
視察項目	足利市屋内遊戯場「キッズピアあしかが」
視 察 者	民生常任委員会委員 7 名 同行当局職員 1 名 事務局職員 1 名
視察概要	<p>年少人口の減少に歯止めをかけることを目的に、子育て世代の保護者からの要望である「季節や天候に左右されることなく、子ども達が裸足で駆け回れる遊び場」と行政課題である「市内の空き店舗、空き倉庫の解消」を併せて解決できるよう屋内遊戯施設設置の検討を重ね、行政提案型公募方式（事業実施希望者が、施設の設置場所（土地・家屋）を確保し、新設のうえ、自ら 5 年間継続運営することを要件）による事業実施希望者を募集し、選定された社会福祉法人「足利むつみ会」によって、「ヨークタウン足利」2 階のフロアの一部 1, 6 4 6 m<sup>2</sup>を改修し、『キッズピアあしかが』が設置された。</p> <p>市は遊具の購入及び設置費に対し上限額 1 億円の補助金、そして年間運営費の 3 分の 2 以内で上限額 3 千万円とする補助金を出していた。</p> <p>開館時間は 9 : 4 0 ~ 1 7 : 4 0 の全 5 クール 8 0 分完全入替制となっており、定員は 2 0 0 名程度、利用料金が 1 クール 1 0 0 円（保護者・子ども両方）で対象年齢は 6 カ月～ 1 2 歳までとなっている。</p> <p>特徴として「動の遊び」「静の遊び」が共存し、保護者と一緒に遊べる 6 つのゾーンや登る、ぶら下がるなど人間の動きの種類 3 6 通りのほとんどが体験できる遊具並びに子ども達の創造力や理論的思考を育む 4 つの I C T 教育コンテンツも体験できる遊戯施設であった。</p>
本市に生かせる視点	<p>本市も現在多くの団体が利用している「アクティーマイズ」の体育室を改修し、屋内遊戯施設の設置を検討中であるが、「キッズピアあしかが」のように大型商業施設等の空き店舗を利用することで、同フロアにアパレル企業や雑貨店等の新規オープンと集客、周辺地域経済の活性化を図ることが可能である。</p> <p>また、官民の共同運営とすることで、各々の強みを生かすことが可能で、施設運営に民間の経営能力を取り入れることで運営コストの節減が図れ、さらに、足利市のように契約した事業者が就労継続支援事業所も行っている現場スタッフに障がい者を雇用するといったことも可能である。</p> <p>そのほか、保護者の希望も考慮しながら、子どもが飽きないよう遊具の更新を定期的にするなど近隣と類似しない屋内遊戯施設とすることで、集客につなげることができると思う。</p>